

ニコラス物語

ニコラス君は、やんちゃな子！
いつも手や体は傷だらけ！
勉強なんて大嫌い！
そんなニコラス君もお父さんが大好き！
ニコラス君のお父さんは、町で1番の大工さん。
木を使わせたらおとうさんにかなう大工さんはいない。
お父さんは仕事の時に、いつもえんぴつを耳につけている。
もちろんニコラス君もまねをして、えんぴつを耳につけているんだ
ある日ニコラス君はお父さんの仕事場に来て、
立てかけてあった木の棒を振り回して遊んでいました。
その様子を見たお父さんは、ニコラス君にげんこつをくれました。
ニコラス君は痛いと言うより悲しくて、しょうがありません。
そんなニコラス君にお父さんは、やさしく話をします。
なぜお父さんは、木材を使わせたらみんなに上手と言われるかわかるかい？
それはね木を無駄にしないで全てを使い、木の命を大切にしているからさ！
それをいたずらに使ったからお父さんはおこったのさ！
ニコラス君はお父さんに聞きました。
木の命を大切にするってどういうこと？
お父さんは言いました。
お父さんやニコラスに命があるように、木にも命があるんだよ！
無駄なく使う事で命がよみがえるんだ！
ニコラスもいたずらをして手や体にアザや傷がつくだろう？
木だって何百年と過ごす間に、台風や地震などで曲がったり傷になったりするんだよ！
それを全て使わせてもらうのさ！
そうすると木は喜んでくれるのさ！
生まれ変わった木を見て、触って、香を嗅いで人の心は落ち着くのさ！
ニコラス君はお父さんの話を聞いて、ますますお父さんが好きになりました。
大きくなったらお父さんのような、木の命を大切にすることがしたい！
こうして生まれたニコラスボードです。
みなさんかわいがってくださいね！

